

みずほCustomer Desk Report 2017/04/27号(As of 2017/04/26)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	111.38 AUD/USD
TKY 9:00AM	111.10	1.0928	121.39	0.9935	1.2837	0.7537
SYD-NY High	111.78	1.0951	121.98	0.9968	1.2863	0.7557
SYD-NY Low	110.87	1.0856	120.92	0.9921	1.2805	0.7455
NY 5:00 PM	111.05	1.0903	121.08	0.9931	1.2847	0.7473
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)		8.95/9.55	25RR	0.870	Yen Call Over	
NY DOW	20,975.09	▲ 21.03	債券市場			
NASDAQ	6,025.23	▲ 0.27	日本2年債	-0.2050	▲ 0.5bp	
S&P	2,387.45	▲ 1.16	日本10年債	0.0160	▲ 1.0bp	
日経平均	19,289.43	210.10	米国2年債	1.2717	0.1bp	
TOPIX	1,537.41	18.20	米国5年債	1.8282	▲ 2.7bp	
シカゴ日経先物	19,200	▲ 25.00	米国10年債	2.3035	▲ 2.9bp	
ロンドンFT	7,288.72	13.08	独10年債	0.3520	▲ 2.6bp	
DAX	12,472.80	5.76	英10年債	1.0830	▲ 0.2bp	
ハンセン指数	24,578.43	122.49	豪10年債	2.6290	3.4bp	
上海総合	3,140.85	6.28	為替市況	USD/CNH	6.8972	0.0088
USDJPY 3M Vol	9.49	0.31%		ドルインデックス	99.05	0.26
USDJPY 6M Vol	9.52	0.16%	商品市況	CRB指数	181.708	▲ 0.20
EURJPY 3M Vol	10.02	0.38%		NY金	1,264.20	▲ 3.00
EURJPY 6M Vol	9.90	0.34%		WTI	49.62	0.06
				Dubai Spot	50.57	0.26

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月26日	10:30	豪 CPI(前期比/前年比)	1Q 0.5%/2.1%	0.6%/2.2%
	10:30	豪 CPIトリム平均値(前期比/前年比)	1Q 0.5%/1.9%	0.5%/1.8%
	20:00	米 MBA住宅ローン申請指数	- 2.7%	-

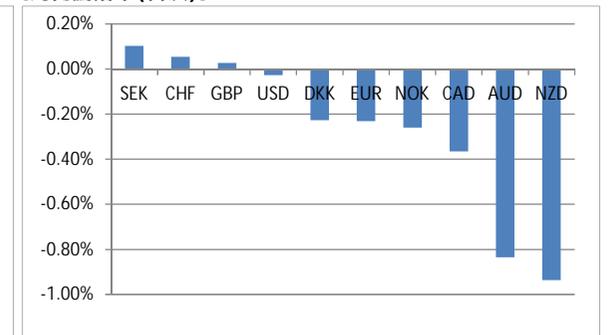
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月27日	-	日 対内・対外証券投資	-	-
	-	日 日銀金融政策発表	-	-
	15:30	日 黒田日銀総裁会見	-	-
	18:00	欧 消費者信頼感・確報値	4月 -3.6	-3.6
	20:45	欧 ECB理事会・ECB主要政策金利	- 0.000%	0.000%
	21:00	独 消費者物価指数・速報値(前月比/前年比)	4月 -0.1%/1.9%	0.2%/1.6%
	21:30	欧 ドラギECB総裁会見	-	-
	21:30	米 耐久財受注/除(輸送用機器)速報値(前月比)	5月 1.3%/0.4%	1.8%/0.5%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 245K	244K
	23:00	米 中古住宅販売契約(前月比)	3月 -1.0%	5.5%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.50 ~ 111.30	1.0880 - 1.0980	120.80 - 121.80

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外時間のドル円相場は、111円78銭まで上昇するも、その後は111円台前半までドル円は下落し東京時間に戻ってきている。欧州時間は111円20銭近辺で推移していたが、米国時間入り際から、米国税制改革案への期待感からドル円は買い優勢の展開となり、111円70銭台まで上昇。しかし、結局経済チームから発表された内容にはサプライズはなく、政策に具体性に欠けるとの失望感からドル円は売られ、米10年債利回りも2.34%から2.30%まで下落し、ドル円は一時111円を割れる場面も見られた。(27日東京時間午前7時時点は111円00 ~ 10銭を推移) 米国株式市場は税制改革案公表を控え、ここ数日は続伸していたが、政策への不透明感から昨日の安値で引けている。本日は、昨日の海外時間の流れを引き継ぎ、日経平均株価にも売りの調整が入る可能性がある。加えて月末が近いことから月末特有の円買いフローも想定され、ドル円の上値は重いものと考えられる。

東京	東京時間のドル円は111.10レベルでオープン。日経平均株価が前日比100円超高で寄り付きその後も上昇幅を拡大する展開となるとドル円も連れ高となり111.42まで上昇。仏大統領選や北朝鮮情勢を巡る警戒感が後退しリスクセンチメントの改善が意識される中、ドル円は111円台前半での底堅い推移が続いた。日経平均株価が引けにかけて一段高となるとドル円も上昇し、111.47レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、111.47レベルでオープン。東京時間の流れを引き継ぎ111.50台までドル高が進む局面もあったが、先週末比水準を切り上げていることもあり利益確定と見られる売りも散見され、その後は小幅に反落し111.34レベルでNYに渡った。ユーロは1.0937レベルでオープンすると、仏大統領選挙第一回投票後の高値となる1.0950台までユーロ高が進むも、ECB理事会を翌日に控えていることもありユーロ高は続かず、1.0894レベルでNYに渡った。(ロンドン17:30)
ニューヨーク	週末初来のリスクオンモードの流れを引き継ぎ、海外市場のドル円は底堅く推移し、111.34レベルでNYオープン。朝方はニューヨーク財務長官の「法人税率を15%にする」と確認、「米史上最大の減税、税制改革に」との発言を受けてドル買いが強まり、ストップを巻き込みながら111.74まで上昇。その後、米金利の乱高下を受けてドル円も111.19まで急落する局面もみられたが、午後に入控えるトランプ政権の税制改革概要発表への期待感からすぐに111円台半ばを回復し、概要発表前に月初来高値となる111.78まで上昇。しかし、ユン米国家経済会議(NEC)委員長、ニューヨーク財務長官から発表された骨子は特段目新しいもの(具体性に欠ける内容となったことから、利益確定等のドル売りが優勢となり、111.14まで急落。なお、その概要は「法人税を15%に引き下げ」、「課税区分を7段階から3段階に簡略化」、「国境税調整は見送られる方針」だった。詳細発表は6月以降となる見込み。その後、米長期金利の一段の低下を受けてドル円は110.87まで下落し、111.05レベルでクロスした。なお、本日、米政治専門メディアがホワイトハウス筋の情報としてトランプ政権はNAFTA離脱の大統領令の草案を検討しており、今週後半もしくは来週に明らかになる」と報じたことから、メキシコやカナダは急落した。一方ユーロは1.0894レベルでNYオープン。米税制改革への期待感から安値1.0856まで下落した後、骨子発表後のドル売りを受けて高値1.0913まで値を戻し、1.0903レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断なさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。